

## 令和4年度 第3回 学校運営協議会

日時 令和5年2月28日(火)

午後6時30分より

場所 池田中学校 図書室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 学校長あいさつ

4 協 議

(1) 本年度の学校運営について【資料1】

(2) 学校評価について(結果と考察)【資料2】

(3) 来年度の学校支援活動について【資料3】

(4) その他

5 閉 会

**【資料1】**

「本年度の学校運営について」

《学校運営の基本方針》

☆学校目標

- 生徒一人ひとりに寄り添った指導を行う
- 「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業を展開する
- 高め合える教職員集団による働きやすい職場環境作りをめざす

☆具体的な重点目標

- 生徒の成長が話題となる職員室作り
- 声に出して生徒を褒めよう
- 生徒の認められる場をつくろう
- 若手教師からの相談や助言を通じて、組織全体としての指導力の向上

☆学力向上への重点

- 言語活動の充実が図られた授業展開
- 「ねらいの提示」「振り返りの設定」「話し合い活動の効果的な実施」「発問の工夫」
- タブレットを活用し、学びの幅を広げ、理解を深める

## 【資料 2】

「生徒・保護者のアンケート」や「教員の自己評価」からの考察

### (1) 生徒・保護者との信頼関係の構築

○生徒アンケート：「自分のことを理解してくれる先生がいる」で、78%の生徒が肯定的な回答をして、昨年度より3ポイント増加している。

○保護者アンケート：「困ったことがあったら、学校に相談しやすい」で、58%の保護者が肯定的な回答をしたが、昨年度より8ポイント減少している。

▲不登校や多種多様な生徒。個人的な意見や都合で学校全体を変えようとする保護者に対応する先生方には大変ご負担をおかけしていると感じる。社会の多様化と同時に、保護者の考え方も多様化している。寄り添いつつ、生徒の成長につなげていくことが課題である。

### (2) タブレットの活用と学力向上

○生徒：「授業が分かりやすい」と感じている生徒が91%おるが、昨年度より3ポイント減少している。

○保護者：「学校は勉強を分かりやすく教えている」と感じている保護者が61%おるが、昨年度から10ポイントの減少である。

○タブレットを使った授業に積極的に取り組み、生徒の学習意欲向上に繋げることができた。

▲若い先生を中心にタブレットの活用は素晴らしい。デジタル教科書しか活用していないので、使いたい教科書が終わらない恐れがある。

▲持ち帰りや、授業のLIVE配信については課題も多く、限定的な活用となっている。

▲生徒はおとなしく前を向いて授業を受け、わかりやすいと感じている生徒がほとんどだが、テストの結果に結びついていないように感じる。授業者の授業力向上と生徒の学習意欲向上が課題である。自主勉等の家庭学習を提出していない生徒も目立つ。

### (3) 若手教員の育成・組織全体の指導力向上

○本年度、OJT（オンザジョブトレーニング）を中心に若手教師の育成を図った。その結果、先輩教員（トレーナー）と若手教員（トレーニー）にさらに信頼関係が生まれ、意見や悩みを出しやすく、若手教員の育成につながった。若手教員だけでなく先輩教員にも人材育成の初歩的な経験を積むことができたり、教えることで対象業務への理解がさらに深まる効果があると考えたが、やや押しつけ気味の先輩教員や、今の社会情勢を鑑みての指導ができていない先輩教員もあり、次年度への課題と考える。

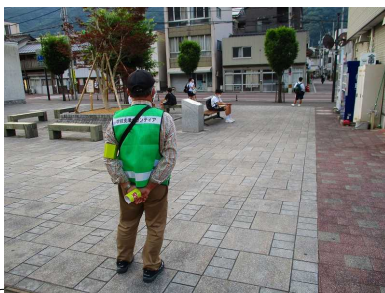
▲人を指導するということは難しく、常に気を張っておかないといけないのだと改めて実感した。

▲生徒に思いを伝えられる教師になりたい。意欲を高める指導が大切、指導例通りでは高まらない。

### 【資料3】

来年度の学校支援活動について  
＜今年度、学校運営協議会で提案し実現した学校支援活動＞

#### ①登下校の見守り（バスターミナル）



＜成果＞

- ・生徒の安心・安全になる。
- ・挨拶や礼儀をきちんとしようとする生徒が増えた。
- ・大人の目があるので自分の行動に気をつけている。

＜課題＞

- ・人材の確保。

#### 技術の授業支援（1年木工・3年電気）



#### ③家庭の授業支援

本年度は授業の進度等で都合がつかなかったが、来年度は実施できればと考えている。

#### ④書き初め大会（全学年9クラス）



#### ⑤秋の交通安全旬間の交通指導

大西自転車前，北條坂下，池田高校前の3ヵ所で3日間交通指導していただいた。

#### ⑥池田城清掃活動

毎月25日を池田城の日とし，生徒と共に清掃活動を実施。

＜成果＞

- ・専門性が必要な教科なので，複数人で指導でき良かった。
- ・優しく声かけていただき，生徒たちも安心して質問できた。
- ・意欲的に取り組むことができた。

＜課題＞

- ・授業の時間調整（次の時間にかかってしまうことがあった）。

＜来年度の学校支援活動について＞

- ①今年度の実現できた活動は継続していきたい。
- ②コーディネーターによるボランティアの方との連絡調整を継続してほしい。
- ③専門性の必要な授業に，地域の方々の力を借りることができると良い。
- ④学校が担う業務が増えているので，いろいろな機関との連携が必要である。